

令和7年度 グループホーム花桃 地域連携推進会議録

日 時；令和7年9月30日（火）11時～12時

場 所；養楽福祉会 法人本部 会議室

出席者：・グループホーム花桃 管理者

- ・地域サポートセンター支援課長
- ・グループホーム花桃 サービス管理責任者
- ・グループホーム花桃 担当
- ・高齢者福祉施設 施設長
- ・民生委員 1名
- ・特定医療法人 本部 係長
- ・老人保健施設 事務長
- ・愛知県医療療育総合センター 看護師
- ・利用者保護者 1名
- ・利用者代表 1名

1 開会・挨拶

グループホーム管理者より

2 自己紹介

3 事業所の紹介

別紙参照

- (1) 養楽福祉会の紹介
- (2) グループホーム花桃の紹介
- (3) 地域連携会推進会議の目的と効果

4 ミニ講義

別紙参照

- (1) 知的障害とは
- (2) 自閉症（自閉スペクトラム症）とは
- (3) 共通する支援のポイント
- (4) 防災について

5 質疑応答・意見交換

- (1) 防災について、高齢者福祉施設ではLINEのオープンチャットを使用しているが、何か良い連絡ツールはあるか

職員間ではLINEワークス、養楽福祉会として職員・世話人対象のビジエネ連絡網アプリ、入所施設では高森台地区と廻間町地区にIP無線機を1台ずつ配備している。愛知県知的障害者福祉協会の防災委員会より、オープンチャットの使用は多く、グループフォームも活用、委員長のみ指示出せるようにしている。また、静岡県では安否確認システムANPIC（アンピック）を導入している。

研修にて九州大学の講師より玄関から1歩出る、「助けて」と言う訓練をまめに行う大切さや「逃げトレ」というアプリを活用しているとのこと。

- (2) 災害時、救急車が来れない際の対応について

養楽福祉会としては、トリアージの訓練は行っていないが、避難訓練後の30分後の動きについての訓練を取り組み始めている。

医療療育総合センターでは、トリアージに関して、想定はしているが難しい。点呼等、避難訓練の回数を重ねている。

老人保健施設では、消防訓練は外に避難せず、非常階段も使用していない。水平訓練のみである。

- (3) 高森台地区の高齢化・民生委員として、近年、若い方が住むようになってきている。

民生委員の活動として、防災委員より地区の自宅を訪問し、防災状況の聞き取りを行う予定だが、障がいのある方、主に精神の方への聞き方はどうすれば良いか？

福祉サービス、医療サービスをお使いですか？と聞くと良い。

広報について、来年度全戸配布となるため、GHとして地域のイベントや行事に参加させていただきたい。

- (4) 知的障がい者の方の判断基準・障害者への理解について

IQだけでの判断ではなく、障害者手帳、日常生活能力、保健面・行動面などでも判断する。障害者支援区分についても、行政的な線引きであり、GHでは基準はない。支援者が一人ずつの対応を考え支援している。法人として高森台でカフェはなもを運営しているため、ご理解いただければ幸いです。

- (5) 高齢や認知症の家族の支援について相談したい際はどうすれば良いか

高齢者福祉施設の施設長より、本人の支援だけでなく介助者も疲弊してしまうため、介助者のケアは必要。

高森台・石尾台の地域包括支援センターに相談をしていただきたい。

- (6) 高齢の方への支援・看取りについて

GHでは看取りはいないが、法人の高齢入所施設では5～6名ほど看取った。

障がいのある方も高齢化が進んできているため、今後も皆様にご協力お願いします。